

成 田 市 の 環 境

平成 26 年版



成 田 市

はじめに



今日の環境問題は、自動車等による大気汚染や騒音問題、生活排水等による水質汚濁など、日常生活に伴い発生する都市生活型公害から、生態系への影響が懸念されるダイオキシン類の発生、また、地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨といった地球規模の環境問題まで、複雑・多様化しております。

こうした問題の解決にあたっては、これまでの「大量生産・大量消費・大量廃棄」の社会構造を見直し、環境への負荷の少ない「持続可能な循環型社会」を構築していくことが必要であります。また、環境の問題は、行政だけで解決できるものではなく、市民や事業者の皆様とともによりよい方向へ推進していくことが不可欠であります。

このようなことから、本市では、「成田市環境基本条例」の基本理念のもと、環境保全施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「成田市環境基本計画」（計画期間：平成20年度から平成29年度）を策定し、環境行政の推進に努めております。

また、市自らが環境配慮行動を率先して実践していくため、「成田市役所エコオフィスアクション」を策定し、一事業者及び一消費者として環境にやさしいエコオフィスづくりに取り組むとともに、「成田市生活排水対策推進計画」や「成田市一般廃棄物処理基本計画」に示しております各種施策を、市民や事業者の皆様との連携を図りつつ展開してまいります。

本書は、平成16年度から10年間の、本市の環境の概要を取りまとめたものです。本書を通じて、市民の皆様が環境問題への理解と関心をさらに深められ、豊かな自然と文化に恵まれた成田市の環境を将来に引き継ぐために、広くご利用いただければ幸いです。

平成26年12月

成田市長 小泉一成

成田市の環境（平成26年版）

目 次

はじめに

第1章 成田市の概要	1
1. 位 置	1
2. 地形と地質	2
3. 沿 革	3
4. 人 口	3
5. 産 業	4
6. 土地利用	6
第2章 環境行政の体制	7
1. 環境行政の沿革	7
2. 審議会等	10
3. 広域的環境行政組織等	12
第3章 環境行政の推進	15
1. 成田市環境基本条例	15
2. 成田市環境基本計画	15
3. 成田市役所エコオフィスアクション	18
4. 総合的環境保全施策	20
第4章 大気汚染	25
1. 概 要	25
2. 気 象	28
3. 硫黄酸化物(SO _x)	30
4. 窒素酸化物(NO _x)	32
5. 光化学オキシダント(O _x)	35
6. 一酸化炭素(CO)	38
7. 浮遊粒子状物質(SPM)	39
8. 炭化水素(HC)	41
9. 有害大気汚染物質	43
10. 酸 性 雨	44
11. 微小粒子状物質(PM _{2.5})	46
第5章 水質汚濁	47
1. 概 要	47
2. 河川の状況	55
3. 印旛沼の状況	71
4. 下水道の状況	73
5. ゴルフ場水質調査	73
6. 地下水汚染	75

第6章 騒音・振動	79
1. 概 要	79
2. 工場騒音・振動（特定施設）	82
3. 建設作業騒音・振動（特定建設作業）	84
4. 自動車騒音・道路交通振動	86
5. 航空機騒音	96
6. 環境騒音	103
第7章 悪 臭	109
1. 概 要	109
2. 現 状	110
3. 調査・測定	111
4. 対 策	114
第8章 地盤沈下	117
1. 概 要	117
2. 観 測	118
3. 現 状	119
4. 地下水採取状況	124
5. 対 策	125
第9章 土壌汚染	127
1. 概 要	127
2. 土壌汚染の状況と対策	130
第10章 ダイオキシン類	131
1. 概 要	131
2. 調査結果	132
3. 対 策	137
第11章 自然環境	139
1. 概 要	139
2. 自然環境保全地域	139
3. 動植物生息調査	140
第12章 廃棄物	147
1. 概 要	147
2. 成田市一般廃棄物処理基本計画	148
3. 現 状	150
4. 今後の対策	155
第13章 その他	157
1. 土砂等の埋立て	157
2. 空き地の適正管理	158
3. 放置自動車対策	159
4. 苦 情	160
資料編	161
1. 成田市環境基本条例	162
2. 環境用語解説	166



環境にやさしい植物油インキを使用しています。

本冊子はグリーン購入法に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。